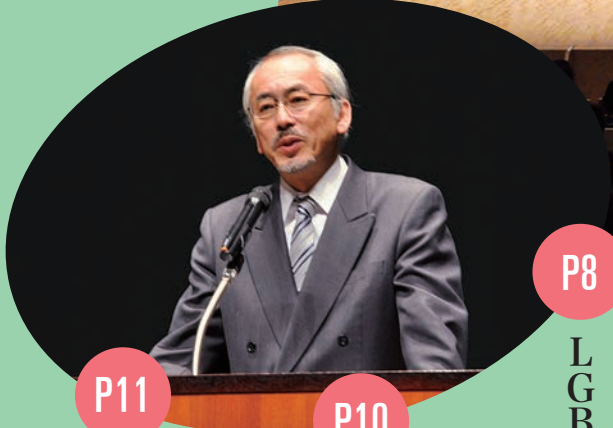


男女がお互いを尊重し、その人らしく生きる。  
仕事も暮らしも楽しむ。  
そんなあなたを応援する情報誌です。

特集

## 平成26年度 男女共同参画フォーラムを実施しました いいんだよ、だいじょうぶ

「夜回り先生と考えよう！」ともにみとめあう生き方



P4

ワーク・ライフ・バランス  
推進優良企業表彰

P6

講座レポート  
居場所のない少女たち  
朗読「沖縄・対馬丸の子どもたち」と私の歩んできた道

P7

悩みごと相談室をご利用ください

P8

LGBTという言葉を知っていますか

P10

データ・ウォッチング  
「37・1%」  
交友関係やメールをチェックする行為を  
DVだと思ふ人の割合

P11

インフォメーション  
次世代育成支援計画(第二期)を策定しました  
子育て応援サイト「はつぴー子育て」

# 平成26年度 男女共同参画 フォーラム

日時 平成27年 2月21日(土)

会場 四谷区民ホール

## オープニング

合唱 早稲田少年少女合唱団

### 第一部

ワーク・ライフ・バランス  
推進優良企業表彰式

### 第二部

講演 水谷 修  
いいんだよ、だいじょうぶ  
「夜回り先生と考える！」  
ともに認めあう生き方



さん真剣にお話しに耳を傾けていました。  
オープニングの早稲田少年少女合唱団による合唱では、小学生から中学生までの年齢の異なる子どもたちが心を一つにあわ

2月21日(土)、男女共同参画フォーラムが行われました。様々な人々が個人として尊重される社会をめざして、区民による実行委員会と区が共同で企画・運営しているこのフォーラム(22年度まではシンポジウム)は、今回で16回目となります。  
当日は、水谷さんの講演をお聞きしよ

うと、定員いっぱいの方々が来場し、皆さん真剣にお話しに耳を傾けていました。  
オープニングの早稲田少年少女合唱団による合唱では、小学生から中学生までの年齢の異なる子どもたちが心を一つにあわ

## 第一部 ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業表彰式

今回で6回目を迎える優良企業表彰式では、申請企業の中でも特に優れた取り組みを行っている2社に、吉住健一区長から表彰楯が送られ、表彰企業の方から取り組みについてのお話をいただきました。詳しくは、4ページの「平成26年度

新宿区ワーク・ライフ・バランス推進優良企業が表彰されました」をご覧ください。

## 第一部 基調講演 いいんだよ、だいじょうぶ

水谷さんは、長く高校教員として勤務し、そのうちの12年間を定時制高校で過ごされました。教員生活のほとんどの期間、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と非行防止、薬物汚染の拡大防止のための活動を精力的に行ってきました。「夜回り」と呼ばれる深夜の繁華街でのパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組みむ一方、全国から寄せられるメールや電話での様々な相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺問題に関わっています。

## 「夜回り先生」のつとめ

「夜回り」を始めたきっかけは、ある定時制高校に赴任したとき、授業に向き合ってくれない生徒たちとの人間関係を築くためでした。そのためには、こちらから生徒のいる場所に行く必要があったから。定時制高校に勤務したその日から、夜の世界の生活、夜回りを始め、新宿にも数えきれないくらい足を運びました。かつて今も夜の11時から夜回りをし、たむろしている中高生風の生徒を見ると「早く帰りなさい。何かあったら連絡し

## 子どもたちの声

て」と名刺を渡し、声をかけ……。子どもたちにいつも寄り添い、子どもたちが美しいものであふれている「昼の世界」に戻ることを願って夜回りを始め、以来23年。心を病んだ子どもたち、自殺、事故死、薬物……。一人の子、一人の若者を失うたびに、あの時こうしていればこうできたのではないか、こうすべきだったのではと自分を責め、もう何度やめようと思ったか分かりません。それでも続けてこられたのは、子どもたち、若者たちの大半が笑顔になって、夜の世界から昼の世界に戻ってきてくれたから。潰れそうになるたびに、彼らから届く「ありがとう」の言葉が戦いの原動力になっています。

日々の中で美しいものに触れることは、その日一日、本当にやさしい気持ちにしてくれ、生きる力になります。人は認められる、評価されることで明日を生きる、信じる力、肯定感を持つことができるようになります。かつて先人は、子どもは10褒めて1叱れと言ったそうです。でも、多くの大人、親、教師は10叱って1も褒めない。これが子どもたちから生きる力、目の光、明日への希望を奪っているとは考えられないか。水谷さんは、私たちにこう投げかけています。人は褒められるたびに背筋が伸び、目がキラキラ輝いてきます。これが人間の美しさです。子どもたちを褒めるよりも叱ることの方が多い日常、子どもたちの居場所を奪っているのは、私たち大人なのかもしれません。

水谷さんは23年間、子どもたちに「愛している」「好きだよ」と「言葉」で言うのではなく、一貫して子どもたちに寄り添ってきました。

そして今、水谷さんのまわりには、水谷さんと人間関係を築き、信頼でつながっている多くの若者がいます。

そうした若者たちと水谷さんは、平成23年3月11日の東日本大震災直後に、食料や物資を持って宮城県に支援に行きました。東日本大震災で、水谷さんはかけがえない教え子を津波で亡くすというつらい思いをされましたが、一方で、酒を飲み暴力を振るう父親のいる家庭で、何度もリストカットを繰り返して、そのたびに水谷さんにメールをしてきた女子高校生が、避難所となった体育館でお年寄りのお世話をする中で看護師になるという希望を見つけたという嬉しい報告もあつたそうです。

「人は、誰かを幸せにするために生きるんだよ。誰かを笑顔にするために生きなきゃいけないんだよ」「人のために何かをしてごらん。帰ってくる優しさが、ありがとうの一言が君のあしたを開き、生きる力になるんだ」水谷さんは、多くの子どもたちや若者を23年間こうした言葉で繰り返し繰り返し励まし続けてきました。

## 大人へ向けたメッセージ

水谷さんは、今から11年前に「夜回り先生」という本を世に出し、夜回り水谷青少年問題研究所を設立しました。以来、24時間、365日休むことなくメールや

電話で相談を受けています。リストカットがやめられない、親から虐待を受けている、学校でいじめにあっている、助けて、助けて、助けて……。様々な相談にスタッフとともに向き合っています。

「今、子どもたちのもっとも安らぐ憩いの場であるはずの家庭、安心できるはずの家庭がイライラ場になり、子どもたちから笑顔を奪い、様々な問題行動に追いやっていくとは考えないか。子どもたちの前で夫婦喧嘩をし、悪口、陰口を言う。子どもはいつもビクビクするようになる。人が信用できなくなる。優しい子にしたかったら日々親自らお年寄りに優しくする、正義感の強い子にしたかったら、親自身が正義感を持つ。子どもたちに生き方を教えるのではなく、子どもたちに親の背中を見せることがとても大切だ」水谷さんは、大人に向けたメッセージもたくさん送ってくださいました。

水谷さんの講演を聞いた方からは、「大人の責任を改めて感じました」(50代)「心に響く言葉がたくさんありました。心の病は身体から。一人でも多くの子どもたちが救われることを願います」(60代)「子どもを愛して褒めて育てることの大切さを感じました」(40代)「母に、産んでくれてありがとうと言いたい」(20代)「これからの生き方を真剣に考えました。本当に心に響く講演でした」(20代)「夜回りの体験談だけでなく、生きることにしても考えさせられました」(10代)などたくさん感想が寄せられました。

## 実行委員会からの一言



委員の方々と、「何のため」を念頭に様々な視点から考えることができました。講師の水谷先生は「子どものいのちを守るためには戦争から振り返って考えることが大切」と強調され、大勢の人の心の中に平和の砦を築く啓発事業に参画でき、感謝の思いを深く致しました。(石田孝子)

実行委員として初参加。会議の回数が多いのは工夫の余地ありと感じたが、講師の選定から交渉、ポスター決めまで議論を重ね、全員が納得して作業を進めたことに加え、満員御礼が出るほどの大盛況だったことに、大きな充足感を覚えました。(井上美那子)

委員、職員のみならずとともに、このフォーラムを通し、沢山の学びと気づきをいただきました。男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスについてさらに学びを深め、様々な発信をこれからもしていきたいと思えます。(小澤珠美)

昨年度ウィズ新宿の編集委員を経験。今回フォーラム実行委員会に参加し、男女共同参画社会実現への多様な取り組みを実感できました。今回のフォーラムは水谷先生の人間の魅力あふれるもので、たくさんの方にご来場いただきうれしく思いました。(加藤秀子)

「夜回り先生」として活動されている水谷先生の講演は御自身の体験に基づいたお話で先生の思いが満員の聴衆の心を打ち本当に満足できるものでした。早稲田少年少女合唱団の歌声も堂々と歌っている姿に感激いたしました。(川端喜美)

今回はじめての実行委員でした。先輩の皆さまに教えていただきながら、楽しく行うことができました。当日は参加できずに残念に思いましたが、尊敬する水谷先生の講演会を企画できてしあわせでした。どうもありがとうございました。(北川芳美)

フォーラム大成功！老若男女を問わず満員の参加者。人とのつながりが希薄な現代社会。水谷先生の講演は、人との縁を大切に心通わせ、命の尊さをも学ぶ内容でした。明日に向けて、生きる糧になるエネルギーを参加者と共有でき、一層の達成感です。(君塚礼子)

今回の開催にあたり、テーマについて実行委員のメンバーで話し合う時間を共有できたことは、とても貴重な経験でした。日頃出会うことがないであろう人たちが、一つの会を作り上げることは、とても有意義でした。皆さん、ありがとうございました。(中島ゆき)

水谷先生のパワフルで他者に対する誠心誠意の実行力、口先だけではない愛あふれる行動や真実をつく言葉。水谷先生のように他者に本気で思いやりのある人になりたい。フォーラムを通じ人生の目標ができました。(原 美穂)

昭和の時代からウィズ新宿の秋の連続講座や運営委員会発足、男女共同参画審議会委員等に係わってきました。定年退職を機に、フォーラムを担当しました。今後も新宿らしく、フォーラムに「進取の気風」を取り入れていきたいと張り切っています。(宮崎冴子)





区長と受賞企業の皆さん

# ワーク・ライフ・バランス 推進優良企業

が表彰されました

今回表彰された2社を受賞のコメントとともにご紹介します。

## ワーク・ライフ・バランス特別賞

株式会社

### 赤ちゃん和妈妈社

代表者：小山 朝史  
所在地：新宿区本塩町23番地

#### 会社紹介

育児雑誌「月刊赤ちゃん和妈妈」・「季刊1・2・3歳」の刊行、育児・健康を中心とした書籍の企画・刊行、保健指導用・子育て支援用パンフレットの企画・制作、復職支援に関する書籍の刊行・セミナーの企画運営など、より良い子育て環境実現のため情報のプロデュースをしています。

#### 表彰のポイント

- ◆経営トップが経営理念・ビジョンにワーク・ライフ・バランスへの取り組みを明文化し従業員への周知を徹底
- ◆新宿区のコンサルタント派遣を受け、働き方の改善（本年度は残業削減や部門間連携がテーマ）などを推進。経営者からのトップダウンのみならず、従業員の意見や問題意識を重視するために部門横断の「WLBプロジェクト」を開催。そこでの議論は担当者がとりまとめ必要に応じて役員会上申し、改善する仕組みができている
- ◆パパ休暇制度を設け、複数の男性社員が育休を取得している

#### 受賞コメント

当社の経営理念は「一人ひとりがもっと幸せに」子どもが幸せになることを第一に考える会社、そしてより多くの人が人生において充実感、幸福感を味わえる社会、それを目指して情報発信していこうというものです。

そしてこの経営理念が「ワーク・ライフ・バランス」そのものだと思います。自分自身のために、家族のために、そして社会のために、一度きりの人生をどうやって充実させていくのかを考え実行していくことが大切だと思っています。

うちの社内にも、育児をしている者、介護をしている者、自分自身の健康や家族の健康に問題を抱える者など、それぞれが様々な環境におかれています。社内のワーク・ライフ・バランス横断プロジェクトチームというのが、社員全員ではないですが、参加者それぞれが自身の立場や状況を披歴し共有していくということでお互いを思いやる、尊敬することにつながると思っています。

これからも継続してワーク・ライフ・バランスの推進を社内でやっていきたいと思ひますし、事業として企業のお手伝いもしていきたいと思っています。

#### 区長コメント

本日はいろいろなお話しをしていただきました。今後、皆様の取り組みを参考にさせていただきたいと思っています。皆様の職場の中で、自分自身の生活の中で、勤めているだけが仕事ではなく、地域活動も世代によっては一つの仕事なのかもしれません。そうした中でボランティアと生活のバランスなど様々なことを考えながら、より実り多き人生を考えていただければと思います。

## ワーク・ライフ・バランス アイディア賞

株式会社

### セプテーニ

代表者：佐藤 光紀  
所在地：新宿区西新宿8-17-1  
住友不動産新宿グランドタワー28F

#### 会社紹介

セプテーニは国内最大級の取り扱い実績を持つインターネット広告事業を中心に、お客様のマーケティング課題をワンストップで解決するための様々なサービスを展開しています。社是である「ひねらんかい」精神のもと、事業面だけでなく組織づくりにおいても、常にユニークで新しいことに挑戦し、独自の企業文化を築いています。

#### 表彰のポイント

- ◆女性の働き方や育児支援、ワーク・ライフ・バランスに取り組む委員会「hug-kumi委員会」を立ち上げ、月1回の定例会議の他、自主的に分科会を実施
- ◆ワーク・ライフ・バランスを実現している女性を表彰「WOMAN賞」
- ◆「女性リーダー育成塾」を開催し、女性幹部育成に向けた意識改革やビジネススキル向上に取り組んでいる

#### 受賞コメント

hug-kumi委員会設立以前、今後のライフプランを考えた際「子育てをしなから働き続けられるだろうか？」と不安に思う20代後半の女性社員が、徐々に増え始めていました。

そうした中、会社をより良くするアイデアを従業員から経営陣に提言する「経営への提言」という制度を通じ、「女性の働き方や育児支援について考えるようなプロジェクトを立ち上げたい」という提言がありました。

結果、この提言が採用され、2011年に、社長を委員長とした部門横断プロジェクト、「hug-kumi (ハグクミ) 委員会」が設立されました。

以前は、社員の平均年齢が若いこともあり、結婚・出産を経て職場復帰するイメージが、なかなか湧きづらい環境ではありましたが、この委員会活動を通じて、働きがいのある会社を作ろうという啓発活動の他、育児支援の体制を整備してきたこともあり、以前と比較して、子供をもつ女性社員の数は、年々増え続けています。

今回、このような賞をいただく機会を頂戴しましたので、他社様の模範となるよう、今後もhug-kumi委員会では、活発に活動していきたいと思っています。

# ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

新宿区では平成19年度より「新宿区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度」を実施しています。  
26年度末までに累計で144社からの申請がありました。

## 新宿区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度の特徴

### ① 2つの認定区分

すでに取り組みが進んでいる企業を対象とした「推進企業」認定  
これから取り組もうと思っている企業を対象とした「推進宣言企業」認定

### ② 4つの分野の認定

推進企業認定に際して「子育て支援」「介護支援」「地域活動支援」「働きやすい職場づくり」の4分野での認定を行っております。

### ③ ワーク・ライフ・バランスに関するコンサルタント派遣が最大5回まで無料

【活用例】 就業規則の作成支援・見直しのアドバイス

ワーク・ライフ・バランスに関する社員向け研修の実施

ワーク・ライフ・バランスに関する社員意識調査・調査を元にしたアドバイス

皆様のご活用をお待ちしております

新しい時代を  
切り開く!!

## ワーク・ライフ・バランス推進企業を応援しています

今回は新たに認定された2社の企業を紹介します。

### 株式会社 日本政策金融公庫新宿支店 (西新宿1-14-9)



#### 認定分野

子育て支援・介護支援・働きやすい職場づくり

#### どんな企業?

政策金融機関です。

#### 認定のポイント

女性のキャリア開発を中心に、ワーク・ライフ・バランスマネジメントの支援や職員による積極的な活動を進めています。研修だけでなく、各エリアに推進の専任者を置き運用面でもしっかりとサポートできる体制づくりをしています。

### コネクシオ株式会社 (西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー 37F)



#### 認定分野

子育て支援・地域活動支援・働きやすい職場づくり

#### どんな企業?

携帯ショップの運営や販売支援等を行っている企業です。

#### 認定のポイント

女性が多い職場という特徴からワーク・ライフ・バランスを推進しており、「働き方の改善プロジェクト」や「女性活躍推進プロジェクト」などの実績があります。また「仕事と家庭の両立支援ハンドブック」を育休取得者・上司に配るなど独自の取組を行っています。

## 男性の育児・介護サポート企業奨励金

区内中小企業対象に、男性従業員が育児・介護休業を取得した企業に対して奨励金を支給しています。最大で1回30万円、最大で3回まで給付を受けることができます。

※奨励金を受けるためには「男性の育児・介護サポート企業」への登録が必要です。

登録要件・支給要件等の詳細につきましては区公式HPまたは区内で配布している「男性の育児・介護サポート企業応援事業」のご案内にてご確認ください。



●DV防止啓発講座  
居場所のない少女たち

～アートDV性暴力の背景にあるもの～  
講師：NPO法人BONDプロジェクト  
理事長 橘ジュンさん

統括 KENさん



夜の街をさまよう少女たちがいる。行き場がなくなった少女たちはどんな問題をかかえているのか。そんな少女たちの話を聞き、伝え、一緒に考え、次の支援につなげる活動を行う団体があります。

「BONDプロジェクト」です。2月28日に行われた講座では講師のお二人に活動内容などについてお話しいただきました。

活動は繁華街でのパトロール、電話・面接・メールでの相談、保護と多岐に渡ります。パトロールは、渋谷や歌舞伎町といった繁華街に向き、街をさまよう「誰からも守られてない」「ひとりぼっちだろうな」「危ないなあ」と感じる子たちに声をかけ話を聴くというもの。その多くが家庭にもどこにも居場所がない

く「大人を信じられない」「暴力を振るう大人がいる中で育ち誰を信じていいのかわからない」など様々な問題を抱えているという。「無理やり話

をさせるのではなく話したい子の話を聴かせてもらっているんです」と橘さんは語る。また、電話やメールでの相談でも、「今すぐなんとかしないといけない」と感じたら、迷わず会いに行く。すると女の子たちは「本当に会いに来た」と驚き喜ぶという。「私達は悩んでいる女の子たちに『一緒に考えてくれる大人がいる』ということ伝えるために会いに行くんです」と橘さんは言う。また、彼女たちが置かれた環境によっては相談に行けない状況があるということを支援者は考えていかなければならないと。

援助交際をしている少女に「なんでやっているの?」と聞くと「お金をくれるから」と言うことがある。でも奥底には相手が「優しくしてくれる」「自分を必要としてくれる」といった本音があるという。その背景には、性的虐待の事実や自分のせいで家族が不幸になったのではないかなどの思いがあり、リストカットを繰り返す少女もいる。このような声にならない声を伝えたいという思いから自己出版で「VOICE」というフリーペーパーを作成したとのこと。まずは、彼女たちを受け止め、声を聞く。これだけで彼女たちは心が休まると言う。

最後にお二人は「少女たちの生き方の選択肢を増やしてあげたいと思うんです。でも最後に選ぶのは相談者である本人なので、それをどんなことでも、どんなときでも応援できる私達でいたいと思って

日々活動しています」と語られました。自分たちの価値観で決めつけるのではなく、話を聴くことで少しでも救われることがあるということを改めて感じさせられる講座でした。

●パトナーシップ講座

朗読「沖繩・対馬丸の子どもたち」と私の歩んできた道

～女優として母として戦争経験を語り継ぐ～  
講師：阿部百合子氏（女優・俳優座）

1月17日（土）、講師に女優の阿部百合子さんをお招きして、戦争を経験した小学生時代から女優として働きながら子育てまでの体験談と、朗読が行われました。54名の参加者は表現豊かな阿部さんのお話に引き込まれました。

昭和8年生まれでどかな環境で育った幼少時代ですが、小学校2年生で太平洋戦争が始まった途端学校の教育が変わり、大変厳しいものとなりました。終戦前日に疎開先の群馬県で空襲にあい、三布布団を被り川の中で耐えたそうです。戦争が終わり、人間が人間らしく生きられるようになり、戦争は絶対やってはならないと身を持ってわかったと言います。俳優になったきっかけは、俳優を断念した兄の希望でした。二人の子どもに恵まれましたが、子供が生まれたら女優じゃないといわれた時代だったので、とても苦勞したそうです。東京公演後は地方巡業で60日間家を空けることもあり、保育



園やお手伝いさんの手を借りながら、俳優を続けたそうです。子どもに十分な時間をかけられなかったことが負い目で、人生が二度あればもう一度子育てをしたと言います。学童疎開で辛い経験をしたことから、戦争・学童疎開をテーマにした朗読にも力を入れています。

後半は「沖繩・対馬丸の子どもたち」の朗読でした。戦争末期の沖繩で、学童疎開船対馬丸が那覇港から九州へと向かう途中、米潜水艦の攻撃を受け沈没し、奇跡的に助かった当時小学校4年生だった平良啓子さんの目を通し語られた朗読です。阿部さんの気迫ある語り胸が詰まり、涙ぐむ人の姿も見受けられました。

阿部さんは日常、自分の思ったことは口に出すようにし、人とのコミュニケーションがあることが分かって、自分と違う意見の人がいるということは、自分を含めて変わっていくのだと言います。常にアンテナを張り巡らせ、わくわくドキドキしながら色々なことに挑戦し、輝いている阿部さんの姿が印象的でした。

# 悩みごと相談室を ご利用ください



自分自身の生き方・働き方、心や性の問題、家族との関係、職場や地域でのトラブル、法的解決のアドバイスまで、幅広い相談に対応しています。配偶者（パートナー）や恋人等からの暴力（DVやデートDV）にお悩みの場合も、安心してご相談ください。

相談は無料、秘密は固く守ります。

## ウィズ新宿の悩みごと相談室

### 場所

男女共同参画推進センター（ウィズ新宿） 荒木町16

月曜日～土曜日 午前10時～午後4時  
（除く正午～午後1時）

新宿区役所 第一分庁舎 2階 区民相談室 歌舞伎町1-5-1

月曜日 午前10時～午後4時  
（除く正午～午後1時）

### ○面接相談

1回の面接は1時間以内です。ウィズ新宿までご予約のお電話をください。

☎03 (3341) 0801

（予約受付：日曜・祝日を除く午前8時30分～午後5時）

### ○電話相談

女性相談員が直接お受けします。予約はできません。いずれも受付は午後3時30分までです。

☎03 (3353) 2000

日曜・祝日を除く

午前10時～午後4時（除く正午～午後1時）

☎03 (5273) 3646

月曜日 午前10時～午後4時（除く正午～午後1時）

☎03 (3341) 0905 ※男性相談員が対応

土曜日 午後1時～午後4時

## 次の相談機関もご利用ください



### 東京都

#### ・東京ウィメンズプラザ相談室

DV被害者相談(配偶者暴力相談支援センター)、女性の抱える悩み相談(法律相談、精神保健相談) ☎03 (5467) 2455

男性のための悩み相談 ☎03 (3400) 5313

#### ・東京都女性相談センター

DV被害者相談(配偶者暴力相談支援センター)、女性の総合相談 ☎03 (5261) 3110

### 法テラス東京

#### ・民事法律扶助による無料相談

☎0503383-5300

#### ・法テラス・サポートダイヤル

(電話による情報提供)法的トラブル一般 ☎0570-078374

### 新宿区

#### ・福祉事務所 生活福祉課相談支援係

(女性相談) ☎03 (5273) 3884

(月～金の午前8時30分～午後5時)

#### ・子育て支援課 育成支援係

(家庭相談) ☎03 (5273) 4558

(月～金の午後1時～午後5時)

## 男女共同参画推進センターで水曜日担当の田中晴子相談員から メッセージをいただきました。

田中晴子相談員 (元家庭裁判所調査官)

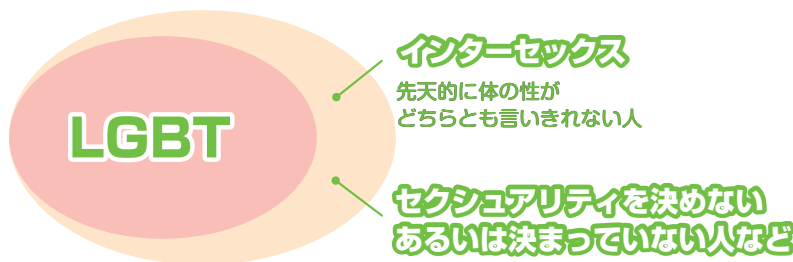
この4月より、ウィズ新宿の「悩みごと相談室」の相談員になりました。どうぞよろしくお願い致します。私は40年来家庭裁判所調査官として、少年事件や家事事件に携わり、定年退職後は東京都女性相談センター、法テラス、都内の女性センターの相談員等を経て、ウィズ新宿で働くことができ、大変嬉しく思っています。月2回だけですが、少しでも区民の方々の力になり喜んで頂けますよう微力を尽くしたいと思っています。人生は悩み多く、苦しいとき、迷って立ち止まってしまう時がたくさんあります。そんな時にウィズ新宿を思い出して頂けたらと思います。相談してもすぐに悩みの解決につながらないことの方が多いと思いますが、じっくりお話しを伺うことはできます。相談にいらした方々が、ひとときホッと笑顔で帰って頂けますよう心がけたいと思っています。電話での相談も受けていますのでお気軽にご利用ください。お待ちしております。

# LGBT という言葉を知っていますか

**LGBT** (エル・ジー・ビー・ティー) は4つの単語の頭文字をとって並べた言葉で、性的マイノリティ(少数者)の総称のひとつです。

<b>L</b> (レズビアン)	女性の同性愛者
<b>G</b> (ゲイ)	男性の同性愛者
<b>B</b> (バイセクシュアル)	両性愛者
<b>T</b> (トランスジェンダー)	「体の性」と「心の性」が一致しない状態 性同一性障害を含む

性的マイノリティはLGBTだけではありません。インターセックス(先天的に体の性がどちらとも言いきれない人)やセクシュアリティを決めない、あるいは決まっていない人など多様な性のあり方が存在します。



## セクシュアリティの要素

- 体の性**：生物学的な性別
- 心の性**：自分がいたい性別
- 性的指向性**：性愛の方向性

株式会社電通におけるダイバーシティ(多様性)課題対応専門組織「電通ダイバーシティ・ラボ」が2015年4月に全国69,989名を対象に行った調査によると、LGBTを含む性的マイノリティに該当する人は7.6%と算出されました。13人に1人、当たり前の存在なのです。2014年12月、IOCは人種や宗教などに基づく差別を禁じたオリンピック憲章の根本原則に「性的指向」を加えました。2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックにもこの憲章の精神を反映する動きが始まっています。

新宿区では第二次男女共同参画推進計画において、目標の一つとして「多様な生き方を認めあう社会づくり」を挙げ、性にかかわる相談体制を整備するなどの対応を行っています。

これからも多様な性と生き方を一人一人が認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会づくりをすすめていきます。

セクシュアリティに関する悩みごと、ジェンダー問題について担当する相談員(“性と生”アドバイザー)が毎週月曜日(場所:区役所第一分庁舎・第2月曜の午後を除く)と毎週木曜日(場所:ウィズ新宿)に面接・電話による相談を行っています。

一人でかかえないで、悩みごと相談室をぜひ利用してください。(7ページもご覧ください)



## 『多様なセクシュアリティとジェンダーの公正 個人・家族・性の「やさしい地平」へ』

田中弘子／編著 明石書店

著者は“性と生”アドバイザー、悩みごと相談室の相談員です。



## 性の多様性について知り、考えるために…

ウィズ新宿の図書資料室・区立図書館で所蔵している資料の一部をご紹介します



### 『LGBTってなんだろう？ からだの性・こころの性・好きになる性』

薬師実芳・笹原千奈未・古堂達也・小川奈津己／著 合同出版

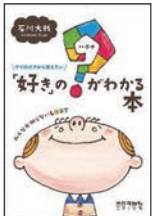
LGBTの子どもにとって相談した時に対応してくれる人、相談できると思える人が一人でもいることが力になります。あなた自身がその人になってほしい、そのための一冊です。



### 『LGBTQってなに？ セクシュアル・マイノリティのためのハンドブック』

ケリー・ヒューゲル／著 上田勢子／訳 明石書店

本書ではLGBTに加えて「Q＝クエスチョニング」という呼び方を使っています。Qは迷っている人、自分の性的指向や性自認がはっきりしていない人という意味です。



### 『『好き』の？がわかる本 ハテナ ゲイのボクから伝えたい・みんなが知らないLGBT』

石川大我／著 太郎次郎社エディタス

現在、区議としても活動している著者が自分自身のこと、カラダの性・ココロの性・スキになる性について、Q&Aなどもまじえて書いています。



### 『ふたりのママから、きみたちへ』

東小雪・増原裕子／著 イーストプレス

東京ディズニーリゾートで同性婚式を挙げた二人は、子どもを育てることを計画中。「家族」や「パートナーシップ」「自由」について分かりやすく語りかけています。

**\*当センターでは著者の東小雪さんをお招きして、平成27年7月11日(土)性と生の講座「多様な性と生き方を認め合う社会に向けて」を開催します。**



### 『男でも女でもない性・完全版 インターセックス(半陰陽)を生きる』

橋本秀雄／著 青弓社

半陰陽者である著者がインターセックスの現在を社会的アピールや仲間たちの声とともに明快に語っています。



### シリーズ：プロブレムQ&A

『性同一性障害と戸籍(増補改訂版)』 針間克己・大島俊之・野宮亜紀・虎井まさ衛・上川あや／著 『同性パートナー生活読本』 永易至文／著 緑風出版



### 《DVD》

### 『先生にできること ～LGBTの教え子たちと向き合うために～』

早稲田大学教育学部金井景子研究室

セクシュアル・マイノリティの問題は性や恋愛の話にとどまらず、人の生き方に広く、深く関わります。当事者である学生の生の声を知ることができる資料です。

## データ・ウォッチング

# 「37.1%」

交友関係やメールをチェックする  
行為をDVだと思ふ人の割合



配偶者等からの暴力（DV）とは、「配偶者や恋人など親密な関係にある（あった）相手から振るわれる暴力のことで、ニュースなどでも、配偶者からの暴力から発展した事件について報道されることがあります。」

### DVだと思ふ行為とその背景

平成26年度第1回新宿区政モニターアンケートでは、殴る、蹴るなどの身体的な暴力はDV行為だと認識していても、交友関係やメールのチェックをするといった行為は、37.1%しかDV行為だと認識していません。このように行動を制限することも精神的な暴力行為としてDVにあたります。

DVには、「身体的暴力」「精神的暴力」「性的暴力」「経済的暴力」「子どもを利用した暴力」「社会的暴力」があり、これらが複雑に絡み

あっています。また、暴力は常に振るわれ続けるわけではなく、暴力を振るった後に謝罪や愛情あふれる振る舞いをする場合があります。そのため「自分が悪いから」「自分さえガマンすれば…」と暴力のサイクルに陥ることもあります。

### DVは重大な人権侵害

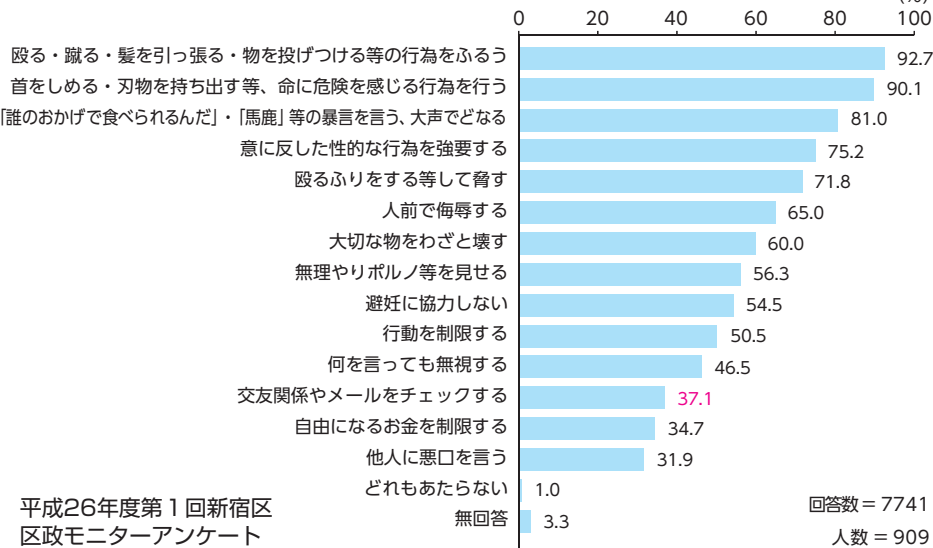
内閣府の調査

によれば、女性の四人に一人が配偶者からの暴力を経験しています。その背景には、「男は仕事、女は家庭」といったような性別による固定的役割分担意識と密接にからんで、男女を主従関係とする風潮があります。DVは、親密な関係にあっても人権の侵害であり、犯罪行為です。

DVのない社会を目指すためには、男女がお

互いの人権を尊重しあう関係を築くとともに、暴力は許されないという意識を広めていくことが大切です。男女共同参画推進センターでは、「悩みごと相談室」でDVに関する相談を受けています。また、DVの防止や被害者の支援に向けた講座を実施しています。ご利用ください。

### DVだと思ふ行為について（複数回答）



## 本の紹介

ウィズ新宿の図書資料室では図書をはじめ、行政資料、DVD、雑誌を所蔵しています。また、新宿区立図書館と連携し、貸出予約サービスを行っています。区立図書館共通「利用者カード」がご利用できますので、詳しくはお問い合わせください。

### 『恋をする、とはどういうことか？ —ジェンダーから考える ことばと文学—』

高岡尚子編／ひつじ書房



ジェンダーについて「恋」というキーワードを切り口に、考察することができる一冊です。和歌や恋愛小説、神話、映画などをモチーフに、「恋とジェンダー」「私とジェンダー」について考えてみませんか。

### ヒロイン『乙女でたどる日本史』(だいわ文庫)

山名美和子／大和書房

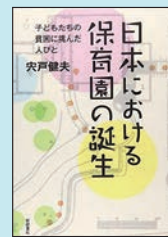


日本史は数多くの女性の手で作られています。にもかかわらず、表舞台から遠ざけられがちだった女性たち。卑弥呼、小野小町、日野富子、春日局、平塚らいてう。知られざる歴史の真実の数々、これらを文庫版で手軽に読むことができます。

### 『日本における保育園の誕生』

子どもたちの貧困に挑んだ人びと

穴戸健夫／新読書社



日本における近代的な幼児保育の歴史は、1876年に設立された東京女子師範学校付属幼稚園に始まりました。1900年に誕生した二葉幼稚園（現・社会福祉法人二葉保育園〔新宿区南元町〕）について、本書の第四章に書かれています。

# 次世代育成支援計画 (第三期)

## 策定しました

妊娠期から世帯形成期までのライフステージを見通した、切れ目のない総合的な次世代育成支援施策を推進することにより、次代を担う子どもたちが、自分らしく成長していけるまちの実現を目指し、「次世代育成支援計画 (第三期)、子ども・子育て支援事業計画」(平成27年度～平成31年度)を策定しました。ここでは、次世代育成支援計画についてご紹介します。

### 目標1 子どもの生きる力と豊かな心を育てます

子どもたちの権利を尊重し、自立して生きていくために必要な豊かな知性・感性、考える力、体力や生活力が育つよう、教育環境や育成環境を充実させます。

【主な事業】 ●子ども家庭・若者サポートネットワーク ●学校問題支援室の運営 ●情報モラル教育の推進

### 目標2 健やかな子育てを応援します

妊娠、出産、子育て期の母親と家族を支援するサービスを充実させます。また、乳幼児期・学童期・思春期を通じ、心身ともに健やかな成長を促すための支援を充実させます。

【主な事業】 ●母親・両親学級等の開催 ●すくすく赤ちゃん訪問 ●親と子の相談室

### 目標3 きめこまやかなサービスですべての子育て家庭をサポートします

多様な子育てニーズに対応できるサービスを充実させます。また、子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育園の待機児童解消対策などを推進します。

【主な事業】 ●私立認可保育所等の整備 ●ファミリーサポート事業 ●学童クラブの充実

### 目標4 安心できる子育て環境をつくります

子育てを社会全体で支える環境づくりを進め、子育てしやすいまちの実現を目指します。

【主な事業】 ●家庭・地域の教育力との連携(子育てメッセ) ●区有施設における子育てバリアフリーの推進

### 目標5 社会の一員として自分らしく生きられる環境づくりを推進します

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の取組みを進めるとともに、若者の就業促進や自立支援などの若者支援施策を総合的に推進します。

#### 1 ワーク・ライフ・バランスが実現できる取組みの推進

【取組みの方向】働きやすい職場づくりに向けた意識啓発と支援 など

【主な事業】 ●ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発 ●ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度  
●ワーク・ライフ・バランス企業応援資金

#### 2 男女がともに自分らしく生きるために

【取組みの方向】男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成 など

【主な事業】 ●配偶者等からの暴力の防止 ●男女共同参画啓発講座 ●小学校高学年向け啓発誌の配付  
●男性の育児・介護サポート企業応援事業 ●父親の育児参加の促進

#### 3 若者支援の総合的な推進

【取組みの方向】若者が社会の中で自分らしく生きるための支援 など

【主な事業】 ●若者のつどい ●若者応援講座 ●障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援 ●自殺総合対策

## 新宿区子育て応援サイト「はっぴー子育て」をご利用ください



育児を応援する行政サービスガイド

はっぴー子育て



新宿区では、妊娠期にある方から就学前のお子さんをお持ちの方に役立つ区の事業や、子育てに関する様々な情報を見やすくまとめた子育て応援サイト「はっぴー子育て」を開設しました。ぜひご利用ください。

URL

<http://shinjuku-city.mamafre.jp/>



【このページに関する問合せ】 子ども家庭課管理係 ☎ 03 (5273) 4260



## 男女共同参画社会の実現に向けて

平成27年度のキャッチフレーズ

# 地域力 × 女性力 = 無限大の未来

暮らしやすく元気な地域社会をつくるためには、女性の活躍・リーダーシップが必要です。これまで男性目線で考えていたことに発想の転換が生まれ、活力ある地域づくりが期待されます。今こそ女性の活躍を加速するとき！身近な女性の活躍をみんなで応援しましょう！

地域力 × 女性力 = 無限大の未来

(内閣府のホームページより)

## 「新宿区ワーク・ライフ・バランス推進 応援サイト」を開設しました

新宿区では企業や個人がワーク・ライフ・バランスを実現するために必要な情報を発信するためのホームページ「新宿区ワーク・ライフ・バランス推進応援サイト」を開設しました。ぜひご活用ください。



新宿 WLB 応援 検索

<http://www.shinjuku-wlb.com/>

## 平成27年度 編集委員会スタート！

「ウィズ新宿」は公募した編集委員と区の協働で作成しています。平成27年度の編集委員は7名です。3日間の編集講座を終え、現在122号の編集会議を行っています。どうぞご期待ください。



## 施設案内

- |          |   |           |
|----------|---|-----------|
| 3F 会議室   | ● | 1F 受付・事務室 |
| 2F 図書資料室 | ● | 閲覧コーナー    |
| 交流コーナー   | ● | 図書カウンター   |
| 悩みごと相談室  | ● | B1 ワーク室   |

### 開館時間

- |           |                  |                |
|-----------|------------------|----------------|
| 月～土曜日     | ◆ 図書の貸出し         | 月～土 午前9時～午後5時  |
| 午前9時～午後8時 | ◆ 会議室の利用         | 月～日 午前9時～午後10時 |
| 日曜日       | ◆ 悩みごと相談室（電話・面接） | 月～土 午前10時～午後4時 |
| 午前9時～午後5時 |                  |                |

## これからの講座

### 性と生の講座（協働）

#### 「多様な性と生き方を認め合う社会に向けて」

講師：東 小雪氏  
(株式会社トロワ・クルール取締役 / LGBTアクティビスト)  
7月11日（土）午後2時～午後3時30分（無料）

### 性と生の講座（協働）「女性のための護身術」

講師：橋本 明子氏（WEN-DO インストラクター）  
第1回 母娘で学ぶ護身術  
～わたしのカラダとココロは自分でまもろう  
7月18日（土）午後2時～午後4時（無料）  
第2回 女性のための護身術 ～心と身体を守るために  
8月1日（土）午後2時～午後4時（無料）

### DV防止啓発講座

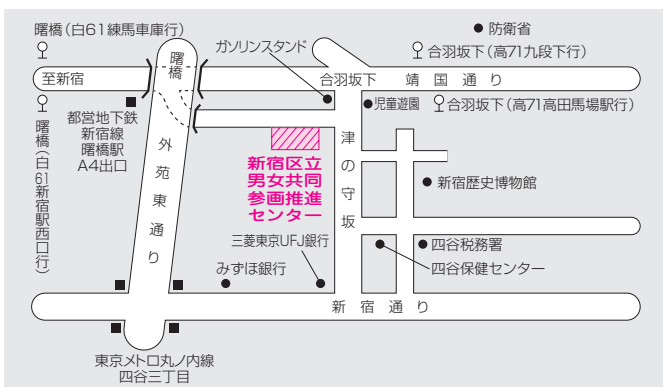
#### 「身近な人が性暴力にあったら～わたしたちができること～」

第1回 9月27日（日）午後1時30分～午後4時30分（資料代500円）  
第2回 10月17日（土）午後1時30分～午後4時30分（無料）  
※全5回予定

実施場所はすべて男女共同参画推進センター3階会議室です。  
申し込み等の詳細は、それぞれ広報でお知らせいたします。

## 編集後記

今号は「夜回り先生」水谷修さんの講演を中心にお届けしました。今年度も様々な切り口で情報を発信していきます。男女共同参画推進センターで行われる多彩な講座や事業にぜひご参加ください。



発行 新宿区子ども家庭部男女共同参画課  
新宿区立男女共同参画推進センター  
〒160-0007 東京都新宿区荒木町16番地  
TEL03(3341)0801 FAX03(3341)0740



発行日 平成27年6月25日

この印刷物は再生紙を使用しています。